

大阪府立旭高等学校 第2回学校協議会（要旨）

- ・日時 : 平成24年2月1日(水) 15:00～17:15
- ・場所 : 校長室
- ・協議委員(出席者)
 - 会長 長谷川耕三 近畿大学入試センター アドミッションオフィサー
 - 委員 橋本和弘 平成23年度本校PTA会長
 - 委員 武江光弘 大阪市立旭東中学校校長 (欠席)
 - 委員 尾畑和彦 平成22年度旭友会常務理事 (欠席)

・内容

1. 校長趣旨説明
 2. 資料確認
 3. 協議
- (1) 各部からの説明

◎進路指導部

- ・58期18期生の推薦入試結果について
2年前の56期16期生から特に4年制大学への志望が増えている。4年制大学には2011年12月現在238名合格。(昨年度は143名)「チャレンジしよう、挑戦しよう」と指導し生徒もそれに応えた。昨年と比べ指定校推薦の希望者が減り、公募制推薦が増えた。
- ・一般入試について
志願状況では、関西、関西学院、近畿、龍谷等が多い。センター試験は例年30名程度の受験だったが、今年は53名。今後、100名前後をめざす。センター利用の私大受験も増えている。

◎図書教養部

「国際教養科、この10年」の資料をもとに
第2外国語として6カ国語を開講。図書教養部を中心に情報交換を活発にしている。
国際理解と課題研究も国際教養科の専門科目として実施している。
海外からの学校訪問を積極的に受け入れ、短期を含め留学生の受け入れが本校の特色の一つになっている。
夏季の希望者対象の語学研修はイギリスとオーストラリア(隔年)を行っている。今年(2012年)は姉妹校(3校)との交流に加えてイタリア研修も実施する。
長期留学だけでなく、海外の大学への進学を視野に入れる生徒もいる。

(7限目：授業参観)

(2) 授業参観を終えて(意見等)

- ・初めての授業参観で身が引き締まる思い。きちんと授業されていて感激した。
- ・授業の指導の内容は教科によって違うと思うが、旭高校の生徒は前向きに授業を受けていた。
- ・数学の授業では、生徒との対話をうまく活かしていた。
- ・国語の授業では生徒が進んで挙手していた。

- ・学校教育自己診断にある結果でも伺えるが、前向きに授業を受けているなど感じた。
- ・寝ている生徒が若干いたのが気になった。
(火・水曜は7限まで50分授業があり、本日見学いただいた水曜の7限は疲れていたかもしれない。)

(3) 各部からの説明

◎学校教育自己診断結果

11月下旬から12月上旬に調査をした結果をまとめた。旭高校のホームページに掲載する予定。

生徒の回答について

授業については半数がわかりやすいとしている。昨年は「わかりやすいし、楽しい」という設問だったが、約40%だった。教員は93%が教材に工夫・精選と応えているが、生徒の家庭学習の不足とも絡んでいる。いじめの対応についての設問については、いじめの事例がないため、このような結果となっていると考えられる。体育祭や文化祭は、耐震工事のため実施時期が早まり、台風のため順延等の状況でこのような結果となっている。家庭学習時間については、1、2年生ではあまり時間が確保できていないが、3年生では増えている(スタートが遅い)。塾やアルバイトは社会の状況や生徒の生活状況にも関係がある。

保護者の回答について

授業がわかりやすいとは思われていないが、これは家庭学習の不足とも関連する。また、保護者が注目するのはまず進路実績で、次に国際交流。これは本校の特色でもある。

◎生活指導部

携帯に関する指導が増えている。1年生はロッカーに入れておくよう指導していて、教室で持っているだけでも指導し、指導の結果がでてきている。1年生で生徒指導事象が増加気味であるが、府下全体でも1年生で増加している。来年度は1クラス増えるので、更に厳しくなることが予想される。

遅刻数は今年の8割程度で、できれば7割程度に抑えたい。8時半間際の遅刻が多い。

自転車の事故が昨年より増えている。警察でも自転車の取り締まりを強化している。

頭髮・服装関係では再登校指導をしている。

◎第1学年

PTA会報に載っている近大職員の山本貴司氏の講演は生徒に好評であった。大学見学会の後でもあり、生徒の関心が高かった。

2月4日(土)実施のセンター模試を1年生は320人中301人が受験する。2年生の受験者も300人弱と例年よりも増加している。

◎生徒会

文化祭について

生徒の関心が勉強の方に向かっているためか、3年のクラスの準備に課題がある。来年度の取り組みについて検討中である。

部活動について

1年生のクラブ加入率が約4割(当初は7割だった)と低くなっているため、来年以降の加入について一工夫が必要である。

意見

- ・1回目の協議会でメールマガジンの増加をお願いしたら、すぐに対応していただけた。
- ・文化祭は台風の影響があったが、先生方には生徒の心配だけでなく、PTAのことも心配していただいた
- ・子ども(3年生)は、旭高校で「楽しかった」、「良かった」と言っている。
- ・自転車通学の割合は？ (50%~60%)
- ・事故率も高くなると思うが？ (自転車通学者は必ず自転車保険に加入させ、授業などでも指導している。)
- ・旭高校の生徒が4人、側道のところでちゃんと止まっているのを見た。
- ・学校教育自己診断の結果についてまとめてみた
 - ・学校に行くのが楽しい … 生徒 76% 保護者 86%
 - 評価が高い
 - ・質問しやすい …生徒 50%
 - ・相談できる … 保護者 52%
 - 生徒・保護者とも相談できる体制を作っていると思われる。
 - ・生徒、保護者とも体育祭、文化祭に対する関心が高い。
 - 行事は生徒の自主的な活動の時間であることを認識していただいている。
 - ・学習規律など … 生徒約7割が指導してもらっていると思っている。
 - 学校全体として続けてほしい。
 - ・命の大切さ、人権について学ぶことについて 生徒5割、保護者7割
 - 指導がよくなされていると思う
 - ・災害時への取り組み … 生徒、保護者7~8割
 - ・施設設備の充実 … 生徒6割、保護者7割
 - 古い校舎ながら、再塗装やトイレの改修など学校としてよく努力されている。
 - ・学習面では満足度が高い 8割
 - ・後輩へ旭高校を勧める 7割
 - ・家庭での学習時間 … していないと答えている生徒が少なくなればよいが・・・。
 - ・先生方へのアンケート「教材の工夫・精選をしている」で当てはまるが9割を超えている
 - 先生方が自信をもって答えている。これが生徒の学校に対する満足度に繋がっている。先生方の努力がより一層生徒に届き家庭学習の時間が増加するようもう一步指導してほしい。
 - ・塾、予備校へ行っていない、通わせていない7割
 - 学校に任されているということ。時間をかけしっかり指導すれば効果はあると思う。
 - ・75%がアルバイトしていない。
 - 市内にある学校でありながら、この数字は注目でき、家庭の状況がうかがえる。
 - ・旭高校の注目しているところ … 100人以上の回答があったのは進路実績、国際交流、生徒会活動や行事
 - 保護者はこれらに大きな関心を持っている。PTAもまとまりをもって国際交流での交流会等先生方のご協力をいただきながらやっている。
- ・もっと大学を利用したらどうか。模擬授業や大学の施設・教室を借りて3日とか4日の補習等をやるなど、いろいろ考える余地がある。
- ・大阪の国際教養科でトップを目指すために何かしたらどうか。国際バカロレア試験を受験できるような授業を設けるなどの意気込みがほしい。
- ・生徒会の活動、行事、部活動が低調になることは危機。体作りや人間関係を作っていくことは非常に大切

だと思う。

・先生方のアンケートの⑧指導内容の工夫, ⑩組織的な対応, ⑥教材の精選・工夫に5割以上の教職員が「よくあてはまる」と答えている。これが9割以上自信をもって回答できるよう頑張ってもらいたい。

4. 校長謝辞

ご意見としていただいた大学の利用を生徒のモチベーションを高めるために考えていく。他校のやらないことをがんばってやっていく意気込みが必要。生徒会活動や部活動などさらに活発にするには力がある時期に来ている。

学校教育自己診断結果に表れている教職員の努力が様々なところで活かせるように頑張っていきたい。

終了 17:15